進学会の特長

フィードバックシステム

生徒の予習と講師の予習調べ

進学会の授業は「**予習調べ**」からはじまります。予習を通して、「できる」と「できない」を明確にし、毎回の授業に目的意識を持ってもらっています。

指導する我々も予習状況から、どこを重点的に指導すべきかを判断した上で授業を行います。「**予習**」が学習効果・効率を上げる秘訣です。



進学会 の授業

予習調べをしているので、各自の弱点に合わせて効果的に授業をします。「発問」が多く適度な緊張感とわかりやすく楽しい授業が魅力です。使うテキストは進学会のオリジナルテキストです。学校の教科書に対応した教材を目的別・レベル別に作成しています。生徒を知る講師陣が執筆を行うことで、限られた指導時間の中で、効果的に必要な学習事項が習得される『最高の教材』を生み出しています。



授業風景(国語)

復習&S-PLAS

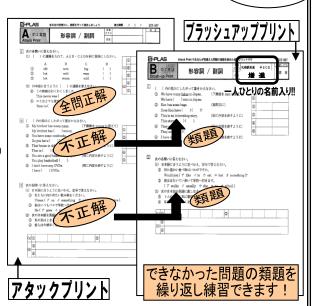
「復習が大事」と言われることは多いと思いますが、 進学会では効果的な「**復習プログラム**」をご用意しており ます。(単に、家庭学習用教材で復習させるわけで はありません)

S-PLAS(進学会プリントラーニングアシストシステム)は、授業で扱った内容を復習する専用プリントです。(アタックアリント)解いたプリントを提出し、翌週に不正解だった問題の類題プリントをお渡ししています。(アラッシュアップアリント)さらに、定期試験前には試験範囲の該当箇所を指定し、

間違えた問題をまとめて再出力することができます。

復習も含めた指導まで行うのが当会の強さの秘訣です!

弱点箇所の集中特訓





フィードバックテスト

定着度の 、確認 。

【5科目+計算英単語】×【年間 12回】=合計 72回の到達度確認テストを通常授業時に実施します。

72回すべてのテストにおいて、平均点・全国順位だけでな く、偏差値まで出します。全国展開の総合学習塾だからこそ できる統計処理が進学会にはあります。

学校の授業

理解度 倍増

進学会は学校の「**先取り」**を行うので、 学校は復習の場となります。

学習効率も良く、知っている内容だから、積極的に発表できるので、「**内申点**」 も期待できます。

試験対策 "専用"授業

定期試験2週間前から「試験対策授業」がスタート! 各中学の定期試験問題の「回収・分析」をしています。

単に試験範囲の授業をするのではなく、**「頻出問題や差が付く** 問題」をテキストの試験対策問題を通じて、指導しています。

例えば、ある通塾生は入塾前71位から、順調に順位を伸ばし、およそ9ヶ月後の定期試験で自己最高の12位まで順位を向上させています。また、定期試験で1位を獲得したことがなかったある生徒は、通塾し始めてから定期試験をはじめ、実力テストも含めて、学年1位を5回連続で取り続けています。

定期試験の確実な対策方法を進学会は知っています。



全国一斉模試

全国一斉模試(合格判定テスト・学力コンクール)は中3で全8回、 小4~中2では全7回あります。全国一斉模試は全国で同日に開催され、 **志望高の合格可能性を精密に判定**します。

試験範囲は今までに学習した全範囲が出るので、定期試験だけではわからない『真の学力』がわかります。さらに、テスト終了後はできなかった問題の解き直しをしてもらいます。進学会は、「弱点」に焦点を当

人試レベルの 出題で判定

熱い授業で



講習会

春・夏・冬の講習会は復習が中心です。講習会の始めには、「**弱点診断テスト**」があり、『弱点』を把握した上で、講習会に臨めるようになっています。

てて、徹底的に反復させるシステムを持っています。

「できない」を「できる」に変える。 言葉では簡単そうに聞こ えますが、お子様ひとりでは難しいことです。

進学会にはそれができる『システム』があります。



このシステムでトップ高・上位高合格者を多数輩出しています。 進学会には学習理論に基づいた明確な『指導システム』があります!

▶ 授業 ▶ 復習 ▶ テスト による学力向上

「繰り返す」ことで「定着」する。創立以来の独自システム。

学力を向上させるためには、「繰り返し」学習し、知識を「定着させる」ことが不可欠です。当会の指導システムは、 予習一授業一復習一テストを効果的につなげ、何度も繰り返す独自のシステムです。学校の授業を先取りし、すべ て講師自ら執筆・編集した教科書別、レベル別、目的別のオリジナルテキストを完全消化し、日々の授業で 定着度を確認するテストも実施します。毎回の授業では、予習もチェックしますので、自然と家庭での学習習慣が 身につきます。さらに、新たに導入した一人ひとりに対応した復習を強化する復習システム「S-PLAS」では、単元毎 の知識を確認するアタックプリントを実施し、生徒一人ひとりの間違った問題に対応する類題を集めたブラ **ッシュアッププリントを提示**します。集団での競い合いと、生徒一人ひとりに対応した復習システムで効率的、効 果的に成績を向上させます。

1 継続授業

学校の授業の一歩先を進みますので、継続授業が学校の授業の予習といった側面をもっています。 継続授業では必ず予習を確認します。分からなかったことを授業で解決します。

予習 S-PLAS フィードバックテスト (継続テスト) アタックフリント 復習 (Aプリ) **2S-PLAS** 学校 次回授業時に 75%17%777/1/ 定期テスト 提出。 (Bプリ) 事前学習 個人別デ-タに基づく 類題演習 答案統計処理・分析 解き直し 弱点診断テスト

復習プリント

を家で解いて

さらに一人ひ

とりの間違え た問題の類題

を集めた名前

入りのプリン

トで弱点を重

点的に克服し

ます。

4 公開テスト 年間8回行う テストで、 志望校の合格 可能性と日々 の学習成果を フィードバッ クして、随時 チェックでき ます。

③ 各期講習会(春·夏·冬)

公開テスト

今まで学習した事項をフィードバックしながら、基礎事項の再確認と知識の総合的な 積み重ねを図ります。ここでも予習 → 授業 → 復習のサイクルを組み込んでいます。

復習

確認テスト

生徒の自主性を養う「指導システム」

目標 D 計画 D 実行 D 確認 による学習意欲向上

自ら努力し、達成の喜びを知る子どもを育てたい

当会では、学力向上とともに、「自ら努力し、達成の喜びを知る子どもを育てたい」という目標があります。受験の 主役はあくまでも生徒自身です。自分で目標を定め、課題を克服していく力は、将来の子どもの成長に不可欠です。

当会では Study Planning (学習計画表) を用いて、自ら目標を設定し、その目標を達成するために、どの ような学習をするのか生徒自身に考えてもらいます。できた計画表をもとに当会講師がカウンセリングを行い、都 度見直しやアドバイスを行いながら「達成する喜びを意欲」に変えていきます。また、中学1・2年生を対象に年間を通 してキャリア教育講座を実施しています。今の勉強は将来どのように役立つのか「勉強の真の意味」を知ること で、自らの将来を切り開く気持ちを持たせます。この気持ちが学力向上に大きく役立つとともに、将来、社会でも 通用する「本物の学力」をつけたいと考えます。



4結果の振り返り

~ 成長の実感を確認。

結果の振り返りを講 師と共に行います。 上手くいった点は? 上手くいかなかった 点は?全てが次の 目標へと繋がっ ていきます。

① なりたい自分を目指して ~ 自分の目標を定める。

まずは目標の設定から始めます。 第一志望校合格という長期的な目標 から今月の目標、テストの目標、 長期休暇中の目標など、 中~短期的な目標へと 落とし込んでいきます。



2目標からの逆算 ~ 計画を立てる。

では、その目標の実現へ向けて 「いつ」「何を」すればいいのでし ょうか。カウンセリングを交えて 生徒と講師が一緒にアイディアを 出し合います。



計画が決まったら、目標の実現

B B B 122 22

へ向けて努力しましょう。 予定通り進んでいるか

どうかを講師が

定期的に

チェック します。

③実現に向けた努力 ~ 実行する。